

## 第50回県選手権大会 競技注意事項

1. 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。スタートについては、競技規定 TR16により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
2. トラック競技の予選で、決勝に進出する資格を得る競技者は着順またはタイムによって決定する。同タイムによって決勝進出競技者が、規定人数を越える場合は抽選で決定する。(タイムは1/1000秒差までの着差を確認する)  
長距離種目は、1年男子1500m、2年男子1500m、1年女子800mは着順どりとし、1~2年男子1500mは15名、1年女子800mは12名が決勝に進出する資格を得るものとする。  
また、共通男子800m、共通男子3000m、2・3年女子800m、共通女子1500mは、タイム予選とし、男女とも800mは12名、女子1500mは15名、男子3000mは18名が決勝に進出する資格を得るものとする。  
3年男子1500mについては、タイム決勝とする。
3. 本競技場は全天候型なので、競技に使用するスパイクピンは全天候型のものとし、9mm以下のものを使用すること。(走高跳は12mm以下とする。)
4. ハードルの高さおよびインターバル、砲丸の重さは次のとおりとする。

男子110mH	高さ	91.4cm	インターバル	9.14m
女子100mH	高さ	76.2cm	インターバル	8.00m
男子砲丸投(5.0kg)			男子四種競技砲丸投(4.0kg)	
女子砲丸投(2.721kg)			女子四種競技砲丸投(2.721kg)	
5. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。走幅跳は、上位12名が決勝に進出する。  
共通男子走高跳 1m45-50-55-60-65-70-73…以後3cmずつ(練習は1m45と55)  
共通男子四種競技 1m25-30-35-40-45-50-55-58…以後3cmずつ(練習は1m25と35)  
共通女子走高跳 1m25-30-35-40-45-48…以後3cmずつ(練習は1m25・35)  
共通女子四種競技 1m15-20-25-30-35-38…以後3cmずつ(練習は1m15と25)  
共通男子棒高跳 2m40-60-80-3m00-20-40…以後10cmずつ
6. 四種競技の砲丸投の試技は3回までとする。
7. 競技者は、学校名のアスリートビブスを胸背部に正しく着けること。(走高跳・走幅跳・棒高跳の選手は、胸部・背部のいずれか一方に着ければよい。)アスリートビブスのない競技者は出場できない。  
トラック競技の腰ナンバー標識は、招集所で受け取りパンツの右側やや後方に着ける。競技終了後はゴール地点で役員に返却すること。  
共通男子3000m(胸背部)、男女1500mでは(胸部)別に配布する数字のアスリートビブスを使用する。競技終了後は、ゴール地点で役員に返却すること。
8. 競技のレーン順・試技順は、プログラムに記載されている順とする。決勝のレーン順は、番組編成の際本部で行う。
9. 招集について
  - ① 招集は、招集所で行う。(招集所は100mスタート側後方ゲートの外に設置する)
  - ② 招集時刻は、プログラムに記載されている通りとする。(競技の進行により競技開始時刻が遅れる場合もあります。招集完了時刻などを変更する場合などがあれば放送で連絡をします。)
  - ③ フィールド競技においては、共通男女砲丸投と四種競技における走高跳・砲丸投は30分前、共通男女走高跳・共通男女走幅跳は40分前、共通男子棒高跳は50分前を招集完了時刻とする。ただし、共通男女走幅跳決勝は、招集完了時刻を30分前とする。

- ④ 選手は招集完了時刻10分前までに招集所に集合すること。10分前より点呼を開始する。  
リレーのオーダー用紙提出は予選・決勝ともに、招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。提出が遅れた場合は失格となる。なお、エントリーした6名以外の選手が走る場合にも、プログラムを参照の上、該当選手が記載されている種目のページなど必要事項を記入し競技者係に提出する。  
オーダー用紙は招集所に用意する。
- ⑤ 代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者はあらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集開始時刻までに、所定の用紙（同時二種目出場届）に記入し競技者係に提出すること。なお、用紙は招集所に用意する。
- ⑥ 招集を受けていない競技者は棄権とみなして処理する。招集時刻に遅れた競技者は出場できない。また、招集所には、点呼を受ける競技者以外入らないこと。
- ⑦ 四種競技出場者も同様に行う。なお四種競技の場合、フィールド種目は競技開始30分前、トラック競技は競技開始20分前には完了すること。
- ⑧ 競技を棄権する場合、棄権届け（陸協指定の用紙）を競技者係に提出すること。用紙は招集所および本部に用意する。
- ⑨ 二種目同時届けを提出し、二種目出場している選手で、競技時間が重なる場合、トラックとフィールド種目のそれぞれの競技進行やラウンドを選手各自が把握し、各自の判断で招集や競技場所への移動を行うこと。
- ⑩ 二種目同時届けは、あくまで招集時の配慮であり、各競技の進行に対する配慮ではありません。トラック競技に出場し、例えば、もう一つの種目であるフィールド競技の場所にもどって来た時、その競技は、次のラウンドが始まっている場合もありますことを理解した上で競技に臨むこと。

10 競技用シューズの扱いについて

- ① 今大会における競技用シューズに関する規定は右図のように扱う。

区分	種目	厚さ
T	800m未満（ハードル）	20mm以内
T	800m以上	25mm以内
F	跳躍・投てき	20mm以内

- ② ただし、今大会においては、投てき競技のみ、競技用シューズの扱いをTR5.5規定の適用除外措置とする。（投てきの競技者については、20mm以上の厚さの靴も可となります。）

11. 規定外の商標を競技場内に持ち込むことはできない。違反している場合は「商標隠テープ」を貼り処置する。
12. トラック競技のゴール後は、競技役員の指示に従い退場すること。その際正面スタンド下通路は通らないこと。また、スタンドから降りての応援・観戦はしないこと。
13. 記録の発表は、正面玄関横の掲示板にて掲示・発表する。
14. 表彰は、各種目の8位まで（リレーも8位まで）の入賞者に表彰状を授与するので、競技終了後すみやかに正面ロビーに集合すること。（表彰や競技の進行から、代理を立てて表彰を行うこともありうる。）
15. 本大会は、第50回全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録突破指定大会とする。
16. 本大会は、第57回中国中学校陸上競技選手権大会の選手選考会とする。男女各種目（男女リレーも）とも上位3位までの者（チーム）が第57回中国中学校陸上競技選手権大会広島県代表となる。  
※今年度は、中国大会が広島県開催であるため、開催県には男女4×100mRの出場枠が3チーム割り当てられます。

# 第50回広島県中学校陸上競技選手権大会 連絡事項

## 1 学校受付及び役員受付

- (1) 学校受付は、7：30～とし、引率者は必ず学校受付をしてプログラムを受け取ること。  
また、学校受付終了後に、競技役員の手付けをすませること。  
学校受付及び役員受付は、メインスタジアム正面玄関内の正面ロビーで行います。
- (2) 大会当日、各参加校（チーム）の引率者は、広島県中学校体育連盟 HP に掲載されている「健康観察記録まとめ」（様式1）に大会当日の参加生徒の体調を確認し記入し、各学校（チーム）で持参しておく。  
（提出は致しません。）
- (3) 今年度は、会場への入場や応援・観戦を行う上での規制や制限、また提出する書式等はありませんが、引き続き、必要に応じてマスクの着用など、各校（チーム）で十分に感染防止に努めながら競技、応援・観戦を行うようお願い致します。
- (4) 役員の手付け会を8：25より競技運営室において行うので、競技役員は時間厳守で集合すること。
- (5) 開会式、閉会式は簡略化して行います。（各種目の表彰は決勝終了後に準備でき次第行いますのでアナウンスなどをよく聞いておいてください。）
  - ・開会式：7月1日（土） 9:00～
  - ・閉会式：2日目の競技終了から15分後に開始

## 2 競技役員について

- (1) 競技役員については、別紙競技役員一覧表により運営しますが、欠席等により役員が不足するようなことがあれば引率の先生に競技役員をお願いすることもありますので、服装等については必ず用意しておいてください。
- (2) 競技役員は必ず役員手付けを済ませること。なお、競技役員の服装は、男性は白の半袖カッターシャツかポロシャツにグレーのスボン、女性は白のブラウスカポロシャツにグレーか紺の服装をお願いします。ジャージは必ず避けること。
- (3) 競技役員は、その任務中は、任務に徹し、選手に対する助言、助力を行わないようにして、公正中立な立場で審判業務にあたること。

## 3 来場者について

卒業アルバムなどの写真撮影業者は8：45以降にメインスタンド正面玄関内の学校受付でアルバム業者の方の手付けをお願いします。\*受付用紙は、受付に準備しています。（アルバム業者の方には、業者と分かる腕章やピブスを着用してもらってください。）

## 4 選手・引率者（監督）・競技役員のスタンドへの開場・入場について（競技場の開門は両日とも7:00）

- (1) 選手等の控え場所として、場所を取ることができるのは、次の場所である。ただし、スタンドも日陰の場所やスタンド裏も場所に限りがあるので、できるだけ各学校（チーム）とも必要最小限のスペースで場所を確保するようにしてください。  
（お互いに気持ちよく少しでも多くの学校〔チーム〕が待機できるようにお願いします。）
- (2) 場所取りをして良い場所（※1日ごとにシートなどは撤去してください。）
  - ① 正面スタンド中段通路よりも上側のスタンド席
  - ② 正面スタンド裏側のコンコース（イスなどは帰る際にもとにもどしてください。）
- (3) 場所取り（テント設営）ができない場所
  - ① バックスタンド、サイドスタンド
  - ② 補助競技場内

### ③ その他、広域公園内の芝生や植え込みなどの部分

#### (4) 正面スタンド並びにサイド・バックスタンドでの観戦について

- ① 今大会で、観戦が可能なのは、「正面スタンド（ゴール側の中段上のボックス席は使用できません）とサイドスタンド・バックスタンドの最前列部分」とします。
- ② 盗撮等防止の撮影禁止区域（100mスタート後方部分や走高跳側サイドスタンドなど）、その他応援禁止区域での観戦はできませんのでご了承願います。

#### 5 駐車場について

- (1) 砂利の駐車場は、基本的には競技役員優先とします。
- (2) バスやマイクロバスで送迎される学校（チーム）は、アスファルトの駐車場にて待機していただくようお願いいたします。（当日の駐車場の混雑を防ぐために）
- (3) 大会当日、競技場内における選手保護者の送迎についても、事前に混雑が予想されることをお伝えいただき、保護者の選手の送迎並びに駐車は、砂利の駐車場の下のアスファルトの駐車場にてお願いします。

#### 6 練習会場の使用について

- (1) 練習会場は、補助競技場を使用すること。なお、1日（土）の8：20～8：55まで、2日（日）の8：15～8：45までは、メインスタジアム内での練習も可能です。ただし、競技会場・各ピットの準備ができた後からの練習としますので、練習可能となりましたら放送で伝えます。

##### <メインスタジアムの朝の競技開始前の練習区分>

- 1～2レーン → 中長距離優先レーン
  - 3～6レーン → 短距離・リレー優先レーン（リレーは、第2・第3コーナーで練習願います）
  - 7～8レーン → ハードル優先レーン（110mH：8レーン、100mH：7レーン）
- ※棒高跳以外のフィールド種目は、メイン競技場内では練習できません。

##### <補助競技場の練習区分> ※投てき練習はできません。

- 補助競技場は、直線8レーン、周回6レーンしかありませんので、選手は接触や衝突などの事故やけがに十分に注意して、1～2レーンは中長距離の周回優先とし、3～6レーンを短距離やリレーなど高速で周回を行う場合に使うようにお願いします。（逆走をしないこと）
  - ※リレー練習は、第2、第3コーナーで行うようにしてください。
  - ホームストレートの直線には、7・8レーンに男女のハードル、4～6レーンにスタプロを時間帯により設置しています。
  - トラック内の芝生部分は使用できません。  
（メデイシンポールやゴム製などの練習用砲丸も含め、投てき練習は補助競技場内ではできない。）
  - 補助競技場では、スターティングブロックおよびハードルを主催者で準備する。これらの練習用具は、学校からの持ち込みをしないこと。
- (2) メインスタンド下の雨天練習場は、今回使用できません。（雨天の場合は、別途指示します。）

#### 7 競技会場の使用について

- (1) 競技者は、それぞれ当日、招集所で指示を受けた経路に沿って、スタート地点や競技ピットに向かい、競技終了後も指示された経路、ゲートより退場すること。尚、正面スタンド前には通らないこと。
- (2) 競技者は、招集所で招集とともに手のアルコール消毒を受け、待機している時なども、できるだけマスクを着用すること。
- (3) 短距離種目については、ゴール後はコースに沿ってカーブするよう事前に指導をお願いします。（選手同士の接触事故防止のため）

#### 8 商標について（大まかに言うと名刺サイズ以上の大きさの商標は隠すこととなります。）

- (1) 競技場内には以下の規定を満たしていない商標名の付いた衣類・バッグは持ち込みできない。特にバッグについては注意すること。（他のカバン、袋を準備するのが望ましい。）どうしても持ち込まなければならない場合や競技場内で発覚した場合は「商標隠テープ」を貼り処置をする。その処置によって持ち物が破損した場合、主催者は責任を負わない。

- ①上半身の衣類…製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積30cm<sup>2</sup>以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5cm以内とする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジヤケットの製造会社名／ロゴ面積は40cm<sup>2</sup>以内とする。
- ②下半身の衣類…製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積20cm<sup>2</sup>以内の長方形、文字は縦4cm以内のものを1ヶ所とする。

- ③バッグ…製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は25cm<sup>2</sup>以内のものとする。

※具体的な例は、別紙の「競技場内における広告・展示物等の規則について」の資料をご覧ください。

- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

## 9 二種目同時届の扱いと2つの競技を兼ねて競技を行う場合の注意

- (1) 二種目同時届は、競技注意事項の9. ⑩にも記載したようにあくまでも招集時での配慮であり、競技の進行においては、各競技者が2つの種目の進行を見ながら行動すること。
- (2) 走高跳や走幅跳、砲丸投とフィールド種目と兼ねて出場している場合には、そのフィールド種目の競技順、ラウンドなど競技の進行状況により、他競技からもどってきて、そのまま試技が可能な場合や次の高さやラウンドとなってしまう場合など状況により異なりますので、あらかじめルールを確かめられ、選手とも確認しておいてください。

## 10 その他

- (1) カメラ・ビデオでの撮影については、「撮影許可証」などの受付はありませんが、盗撮防止についての取り組みとして、撮影禁止エリアの設置や表示、スタンドの見回り、アナウンス等を行う予定です。生徒を通じて保護者へ周知をお願いします。
- (2) 保護者などが撮影された競技中の写真・映像などを、ネットの動画投稿サイトなどに掲載されることのないように周知徹底をお願いします。